

Mさんからのお願い

初めまして。私は昨年、三人目の子供を心臓病で亡くした母親です。うちの子は「ファロー四徴症・肺動脈弁欠損」という病気でした。出生前診断について色々と言われていますが、私は産まれる前に病気が分かって良かったと思っています。産まれる前に分かっていたら、出産直後から適切な治療が受けられるし、親も心の準備ができるからです。私も最初はショックでした。上の子2人は何もなく健康に産まれてきたのに、何でうちの子が・・・と何度も何度も思いました。でもこれが現実で変えることは出来ないのです。

幸いにもうちの子は早くに異常が分かり、専門の先生に診てもらうことができました。同じ病気でも、軽い子もいれば、重い子もいて人それぞれということでした。せめて軽くあってほしい・・・親の願いもむなしく、かなり重症ということでした。産まれた次の日に手術をしなくてはならないかもしれない。でも、私達には何もできません。先生方に任せるしかありませんでした。

そして出産の日。お腹の中において、元気で居られるのなら産みたくない、産んだらこの子には厳しい現実が待っていて、生きられるか分からない。それならば産みたくない！！と思いました。でも陣痛はやってきます。人工呼吸器を付け、鼻にはチューブが入られ、薬で眠らされていました。こういう姿を想像して覚悟をしていましたが、我が子を見るのはやっぱり辛かったです。

生後4日目で手術を受けました。手術はうまくいき、良いときと悪いときの波はあるものの、落ち着いていましたが、30日目の朝に急変し、心臓マッサージの音がなく、一度も抱くこともないまま亡くなってしまいました。昨日面会に行ったときは、変わりなかったのに・・・何で、何でと思いました。やっぱりあの小さな体ではもたなかったんだと思うしかありませんでした。亡くなる数日前から、自分の意思で目を開け、指をそっと握ってくれたのがせめてもの救いです。

結果としてうちの子は生後30日で亡くなってしまいました。出生前診断をしていなくて病気が分かっていなかったら、手遅れになって30日も生きられなかったかも知れません。一番最初に異常に気づいてくれた近所の産婦人科の先生、その後にお世話になった先生方にとっても感謝しています。本当に産まれる前に病気が分かっていて良かったです。

もし万が一また妊娠したら、出生前診断を受けたいと思います。